

令和6年度 東宮永小学校学校経営全体構想

教育目標（長期的な目標）

共に学び、心豊かでたくましい子どもの育成

<めざす学校像>

- 子どもが自分の成長を感じ、生き生きと活動する楽しい学校
- 社会性を身に付け自立できるよう子どもを鍛える学校
- 子どもが安心して学べる学習環境を教員、保護者、地域で創り出す学校

<めざす児童像>

- ①【豊かな心】 自他の良さを認め合い、互いに大切にす子ども社会の一員として、互いに支え合っている子ども
- ②【自ら学ぶ意欲】 集中して学習し、粘り強く学び続ける子ども学習の成果（自分の伸び）を実感できる子ども
- ③【たくましさ】 夢や目標をもち、粘り強く挑む子ども運動に親しみ、元気よく活動する子ども

<めざす教師像>

- ①確かな児童理解をもとに、共通の目標に向かって教育活動に取り組む教師
- ②使命感と責任感をもち、一人一人の子どものよさや可能性を伸ばす教師
- ③自己研磨を常に行い、子ども、保護者、地域から信頼される教師

<児童の実態>

- ① 基礎学力は定着しつつあるが、学ぶ意欲の低下や学力の二極化、思考力や表現力に課題がある。
- ② 与えられた課題や指示された事にはよく取り組むが、自ら判断して行動したり、自分から友だちとかかわって取り組むことが苦手。
- ③ 外遊び児童の固定化、全力で体を動かす経験の不足。

<教職員の実態>

- ① 児童理解に基づき、児童の学ぶ意欲を大切にした授業づくり。
- ② 児童理解力、生徒指導力をはじめとした安心感のある学級経営力。
- ③ 教師同士の連絡調整不足による重点目標を意識した取組の差。

<教育課題>

- ① 主体的に学ぶ意欲、思考力・判断力・表現力の育成、学力の二極化
- ② 自分のよさを気づき自尊感情を高め、粘り強く取り組む態度
- ③ 運動の二極化、基本的な生活習慣の定着

<経営課題>

- ① 教師の授業力の向上
- ② 支持的風土を大切にした学級経営
- ③ 重点目標達成に向けた組織力・経営参画意識の向上

【中期的な教育目標（3年間で身に付けさせたい力）】
「自分も友だちも大切にする子どもの育成」

【中期的な経営戦略】

- ① 教育活動「基礎・基本の確実な定着、思考力・表現力の向上、よりよい人間関係の育成をねらいとする教育課程の編成・実施・評価及び管理の充実」
- ② 組織・運営「協働的な組織運営と危機管理の徹底、働き方改革の推進」
- ③ 人材育成「授業力・学級経営力の向上、日々の授業に生かせる研修の充実、OJTの取組」
- ④ CSと地域学校協働活動の推進、自尊感情（自己有用感）の向上を図る環境の整備

【本年度の重点目標】

友だちの思いや考えを大切にする子どもの育成

【本年度経営の重点】

【子ども同士】子どもと教師【教師同士】がつながるチーム東宮永小

《組織・運営》

- ①組織の活性化を目指した協働体制
 - 教頭、担当者のリーダーシップ
 - 三者会、研究推進委員会、各種委員会の定例化・機能化
 - 「報告・連絡・相談」体制の確立と徹底（管理職へ）
 - 2部会の機能化（PDCAサイクル）と組織的取組
- ②危機管理の徹底
 - 不祥事防止のための職員研修
 - いじめ、不登校への組織的対応
 - 安全意識の向上と安全確保の徹底のための重点化
 - 指導の困難な子どもの指導、保護者対応等についての記録の蓄積（組織的な対応）
 - 危機管理マニュアルの改善と訓練、安全教室等の効果的实施
- ③教職員の働き方改革の推進
 - 会議の内容や行事等の精選
 - 週時程の見直しによる、放課後の学級事務の時間確保
 - 定時退校日の定例化（毎週火曜日）

《教育課程》

- ①教育課程編成の基本方針（重点事項）
 - 基礎・基本の確実な定着、楽しいと感じる授業の推進
 - 「見通しを立てる」「考えを伝え合う」の位置づけ
 - 学級活動（1）の指導方法の習得に向けた研修の充実
 - 体験的な学習を通した、「ふるさと学習」の実践
 - 子ども主体性を育てる特別活動（学級会、児童会活動、学校行事）
- ②教育課程の編成・実施・評価・管理の工夫
 - 編成 学級活動（1）の指導の充実
国語科「話すこと・聞くこと」の重点化
生活科や総合的な学習の時間等での「ふるさと学習」の充実
 - 実施 児童理解のもとつづいた授業づくりと指導の工夫、自発的、自治的活動を目指した学級活動及び児童会活動、主体的な学習による体験的活動、「東宮永スタンダード」の実践
 - 評価 重点目標達成のための教師・児童の評価と子どもへのフィードバック
学力や生活面を目標値に照らして評価
 - 改善 重点目標評価を生かした指導内容等の改善
学力や生活面のデータからの指導改善
週案・授業研・教室訪問で量的、質的管理

《人材育成》

- ①授業力の向上
 - 基礎基本の確実な習得及び学ぶ意欲を引き出す授業づくりの推進（教室訪問）
 - 授業研究における外部講師の積極的な活用
 - 研修の日常化に向けた校内研修の充実
 - ニーズに応じた一般研修の実施
- ②学級経営力の向上
 - 子どもと担任、子ども同士のつながりを大切にした学級経営
・自主性や自己有用感を持たせる特別活動を中心とした指導
 - ・学級経営案（自己評価表）によるPDCAサイクルの構築と活性化
- ③OJT、OFF-JTの取組
 - ・若年教員の授業力向上に向けたOJT
 - ・ミニ研修会による授業力・学級経営力の育成（ニーズに応じた）
 - ・教育センター、教育事務所研修の復命、サークルへの参加、教育論文応募等

《教育環境》

- 校舎内外の環境づくりにむけて
 - ・重点目標に向けた活動が見える環境（校内掲示、教室環境まで）
 - ・学級活動、児童会活動、学校行事の活動が見えるコーナー
 - ・学校図書館内外の環境の工夫
 - ・保健衛生に対する意識向上のための保健室内の環境の工夫
 - ・整理整頓された教室、授業に活用しやすい教具室等の整備

《連携》

- コミュニティスクール推進に向けて
 - ①開かれた学校づくりの充実
 - ・外部のヒト・モノを活用した教材の開発と学習の検討
 - ・地域学校協働活動本部との連携（地域人材の活用）
 - ・学校の魅力ある取組を伝える学校だよりの定期的な発行
 - ・校区民会議による学校訪問
 - ②幼保小中の連携した取組の実施
 - ・協働した学習（授業）や行事等の効果的取組の検討
 - ・柳城中学校区スタンダードの取り組み
 - ・柳城中学校区家庭学習の手引きの活用

《評価等》

- ③学校運営協議会での評価・改善
 - ・学校経営の説明と評価・改善
 - ・協働活動の推進と見直し
- ④各種評価の充実
 - ・重点目標評価（教師・児童）の定期的な実施とPDCAサイクルの機能化
 - ・児童への生活アンケートの実施と「見える化」したフィードバック